

外来生物とは

外来生物は、『もともといなかった国や地域に、人間の活動によって移動させられた生きもの』です。そこには国内の別の地域から移動させられた生きものも含まれていて、「国内由来の外来種」と呼ばれています。食用やペットなどとして意図的に運ばれてこられたものと、貨物などについてくるなど意図的ではなく移動したものがいます。

外来生物が増えるとどうなるの？

もともとその場所にいた生きもの^{せいかつかんきょう}の生活環境を奪ったり、その場所に生態系に悪い影響を及ぼしたりする可能性があります。影響の大きい外来生物は、「侵略的な外来生物」といいます。世界各地に渡った外来生物の10種に1種は、侵略的な外来種になるとも言われています。

外来生物をみつけたら

外来生物は、捕まえたり持ち帰ったりしないようにしましょう。間違えて捕まえてしまったら、その場所に返すことで分布が広がるのを防ぎます。外来生物の分布を今よりも広げないために、特定外来生物は「育てること」「保管すること」「生きたまま運ぶこと」が禁止されています。特定外来生物は外来生物法により、海外からきた外来生物の中で、とくに悪い影響のある種の中から指定されています。

※外来生物法：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律

育てる 保管する 生きたまま運ぶ

生きものをお引越しさせていないかな？

知らないうちに、わたしたちが生きもの^{がいらいせいぶつ}を外来生物にしてしまうことがあります。ここでは3つの行為^{こうい しようがい}を紹介しします。

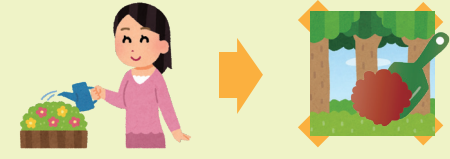
□ 釣ってきた魚を 自宅の近所の池で放してしまう

- ・外来生物だけでなくどんな生きものでも本来すんでいる場所から勝手にお引越^{ひっこ}せさせてしまうと、そこにくらしている生きものに影響^{えいじょう}を与えてしまう可能性があります。



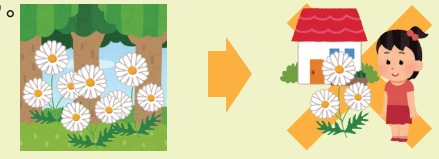
□ お庭で園芸や畑に使ったあとの土を お庭の外へ捨ててしまう

- ・植物を育てた後の土には、タネが落ちてることがあります。
- ・お庭で使った土は、お庭の中に戻しましょう。



□ お花がきれいだから、 見える場所に植え替えてしまう

- ・もしその花が外来種^{がいらいしゆ}だったら、分布を広げるお手伝いをしてしまうことになります。
- ・日本にもともとある花でも、本来の生育地^{せいいくち}から移動させれば外来生物になることがあります。野外の植物は野外で楽しみましょう。



公園からのおねがい

- ・園内の生きものは採取したり、持ち帰らないようにしましょう。
- ・花畑や花壇、柵で囲った場所は入らずに観察しましょう。
- ・スズメバチに出合ったら、立ち去るまで待ちましょう。



人間の活動によって新たな地域^{ちいき}へやってきて数を増やしている生きものたちがいます。外来生物^{がいらいせいぶつ}です。

なかには日本でくらしている生きものに影響^{えいじょう}を与えているものもいます。

外来生物は日本に生きものにどのような影響^{えいじょう}を与えているのでしょうか。



外来生物はどんな生きものだろうか？

がいらいせいぶつ
外来生物が、人間のどのような行動によってやってきたか、もともとくらしている生きものにどのような影
響をあたら与えているか紹介しょうかいします。

食用としてやってきた外来生物 ウシガエル

特定外来生物 重点対策外来種

- 1918年から食用として、北アメリカ大陸から輸入されました。
- 水辺の昆虫、小魚、他のカエル類などを食べます。



日本で養殖させて輸出もしていたよ

ウシガエルのエサとしてやってきた外来生物 アメリカザリガニ

緊急対策外来種



- ウシガエルを育てるエサとして、1927年に輸入されました。北アメリカ大陸原産です。
- はさみで水草を切断したり、トンボのヤゴやカエル類の卵を食べたりします。

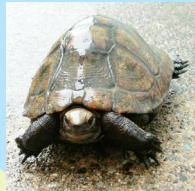
水辺に生息する日本の生きもの



ニホンアカガエル



トンボのヤゴ



ニホンイシガメ

草地ややがを
利用する
日本の鳥たち



ツグミ



シロハラ

ペットとしてやってきた外来生物 ガビチョウ

特定外来生物
重点対策外来種

最後まで責任を
もって飼いましょう



- 美しい声を楽しむため、飼い鳥として江戸時代に中国や台湾などから導入されました。カゴから逃げたり放されたりしたことで、1980年代には北九州で生息が

確認され、北へ分布を広げています。

- 日本ではまだ影響は報告されていませんが、ハワイではもともとくらしていた鳥たち食べものや営巣場所を奪い、生息密度が少なくなっています。

ミシシippiaアカミミガメ

特定外来生物 重点対策外来種



- 北アメリカ大陸原産で、1950年代後半から「ミドリガメ」という名前で、ペットとして輸入されました。1960年代になると捨てられたり、逃げ出したりしました。

- 日本に生息するカメ類から日光浴の場所や食べものを奪っています。

人によって放された外来生物

アカボシゴマダラ

特定外来生物 重点対策外来種

ひっこ
お引越させない
ようにしましょう

- 中国、朝鮮半島、台湾などが原産で、美しいチョウを日本でも見たいという人が放したと言われています。

- 幼虫は、エノキの葉を食べます。日本に生息しているゴマダラチョウや国蝶オオムラサキの生息環境を奪う可能性があります。

幼虫がエノキの葉を食べる日本の昆虫



ゴマダラチョウ



オオムラサキ

後ろ翅の
赤い模様

服にくっついて
いたらゴミ箱へ

いつの間にかにやってきた外来生物

アレチヌスビトハギ

その他の総合対策外来種

- 北アメリカ大陸原産で、日本では1940年に初めて確認されました。人が行き来する間に、何かに紛れて日本にやってきたと考えられています。
- 繁殖力が強く、もともと日本に生息する植物から生育環境を奪う可能性があります。

